

研究課題名	非代償期C型肝硬変患者におけるインターフェロン・フリー治療の長期予後効果
研究責任者名	広島大学病院 消化器代謝内科 教授 茶山一彰
研究期間	2018年12月18日(倫理委員会承認後)～2023年6月30日

対象者

倫理委員会承認～2020年6月30日の間に、広島大学病院消化器代謝内科で非代償期C型肝硬変患者に対してリバビリン併用又は非併用下でSOF/VELの12週間投与を評価した第三相試験(GS-US-342-4019)に登録され既定の観察期間が終了した患者。

意義・目的

治験での主要評価項目は治験薬の安全性ならびに有効性(抗ウイルス効果)であるが、ウイルス排除後の肝予備能改善効果や肝発癌抑制効果といった長期予後効果については評価項目には含まれていなかった。本研究では、上記臨床治験の参加患者を対象に治験期間後を経過観察し、非代償性肝硬変患者におけるウイルス排除による長期予後を明らかにすることを目的とする。

方法

本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。

カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査、尿検査、肝画像検査です。

(個人を特定可能な情報は解析に用いません)

共同研究機関

北海道大学病院、山形大学病院、岩手医科大学病院、東北大学病院、山梨大学病院、獨協医科大学

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257- 5190

広島大学病院 消化器代謝内科 講師 中原 隆志

研究機関：広島大学